



# 和 ～心をつなぐ～

令和6年7月9日  
第3号

## 普通

「普通」とはなんでしょう。今回も新聞の投書欄に寄せられた声から、それぞれの普通について考えました。【※ 裏面：放送内容】



### ☆ 1年生 ☆

- 自分の普通を他の人に押しつけるんじゃなくて、他の人の普通を理解しようとするのが、差別や偏見をなくすことに繋がると思いました。
- 私も友達の意見と違う意見が出たとき、「私のが普通だよ」と言ってしまい、言いあいになることがありました。みんなの意見を尊重し、みんなが普通の生活ができるようにしたいです。
- 自分が思うものと違った時は「あれ？」となることもありますが、人によって様々な考えがあるので、違った見方ができると思いました。相手とコミュニケーションをとっていきたいです。

### ☆ 2年生 ☆

- 相手の普通と自分の普通のどちらも受け入れたいと思いました。自分も無意識に「普通は～するでしょ」と言っていることがあるかもしれないので、人を傷つけないよう言葉には気をつけたいです。
- 人それぞれ、普通となるものは異なるのに、みんな同じだと勘違いしている人がたくさんいると分かった。相手が自分と違うからと相手を否定するばかりではなく、受け入れるという考えもする。
- 私には、差別や偏見はないものと思っていたが、ささいなことで知らないうちに偏見をもっていることが分かった。私とは普通が違う人に出会ったら、最初は驚くと思うけど、その人の考え方を受け入れて、否定したくないなと強く思った。

### ☆ 3年生 ☆

- それぞれの個性を大切にして、異なる考えをもった人と関わることで、新しいものを発見できたり、良い人間関係を築くことができたりすることを学んだ。
- 色選びのような場面は、相手の普通を受け入れやすいと思いますが、受け入れづらい普通もあると思います。すぐに受け入れられないことでも、理解するのを諦めてしまわないようにしたい。
- その人の普通は、その人の個性がでているので、色だけでなく形や動きにも表れてくる。ただ、その普通はまだ世の中に認められなかったり変だと思われたりして、出づらくなっていると思う。みんなの普通が交じり合うことで、世の中は本当の普通へと変わっていくと私は感じた。

皆さん、もうすぐ七月七日ですね。様々なところで七夕飾りを見かけるようになりました。七夕ではどんな願いをしますか。願いを叶えるために、4月の道德の日で話した松井さんのように努力することは大切ですね。

七夕といえば、織り姫と彦星ですね。黒板に貼っている絵の織り姫と彦星の服はそれぞれどんな色を塗りますか。イメージしてください。クラス全員、また全校生が同じ色を塗るでしょうか。さて、今回も新聞に寄せられたある大学生の投書から「普通」について考えてもらいます。

私には年の離れた妹がいる。ある日、一緒に塗り絵をしていたら、妹は男の子の服をピンク色で塗っていた。私は、男の子の服は青や緑などで塗るのが普通だと思っていた。

だから妹が塗った絵を見て、「普通はそんな色で塗らないよ」と言ってしまった。すると妹に「私の中ではこの色も普通だよ」と言われた。そこで私は勝手に色を決めつけて、それを「普通」だと勘違いしていたことに気が付いた。

親が子どもに「女の子は普通、赤やピンクのものを選ぶよ」と言うなど、私たちは無意識のうちに自分の「普通」を押し付け、自分と違うものを「普通ではない」と決めつけてしまうことがある。しかし、その人の「普通」を受け入れ、最初から否定しないということが大切だと思った。

今後は「普通」に縛られずに、自分と異なる考えも受け入れたい。

投書された内容は以上となります。

現代では、グローバル化やジェンダーフリーが言われ、国や性別による差別、偏見が以前よりは少なくなったように感じます。しかし、投書にもあったように、自分の「普通」は相手にとっての「普通」とは限りません。自分にとっての普通は、これまで過ごしてきた環境や経験によって形づくられています。他の人にとっての普通も同じように、その人が過ごしてきた環境や経験によるものです。

自分の普通と他の人の普通が異なることを理解し、その人の背景を考慮することや建設的なコミュニケーションをとることで、他の人の普通を受け入れたり理解しようとしたりすることを通して、よりよい人間関係を築こうとすることが大切ではないでしょうか。

#### ☆ 保護者の方からの感想 ☆ 5月「挨拶」

- ・ 挨拶を通してコミュニケーションが図られたり、話すきっかけとなったり、気持ちよく一日を過ごせるので、習慣づけることが大切だと思う。思春期になると恥じらう気持ちが芽生えてくるかもしれないけれど、「恥じらいを捨てて」挨拶を通して、健やかな毎日を過ごしてほしいです。
- ・ 挨拶は心を開きその心に近づくという意味があります。挨拶はマナーだけでなく、お互いの心が通じ合えたように感じ、自分の心も温まります。そして挨拶をすることは、相手のことを認めているというメッセージにもなります。
- ・ 小さい頃は大きな声でできていた挨拶が、なぜか恥ずかしく感じたり積極的にできなくなったりする時期が一度は訪れます。今一度、挨拶の意味や効果などを学ぶことはとても大切だと思います。挨拶は相手がよくこぶものだけではなく、自分の心も温かくなります。そして相手のことを認めているというメッセージにもなります。挨拶の輪が広がり、自分も相手も大切にしていけるといいなと思います。

(紙面の都合上、感想の一部のみ掲載しています。ご了承ください。)